

# 魔法のプロジェクト 活動報告書

報告者氏名: 講武 俊希 所属: 岐阜県立岐阜希望が丘特別支援学校 記録日: 2023年2月16日  
キーワード: 重度重複障がい、ビデオ観察、iOAK、ABA デザイン

## 【対象児の情報】 A 児

### ・学年

小学部6年生の男児

### ・障害名

知的障がい、肢体不自由

### ・障害と困難の内容

刺激に対する表出は見られるものの、言葉によるコミュニケーションが困難であり、児童の表出について支援者の主観による評価が多く、主観の根拠となるデータや記録等が少ない。また、支援者が見逃している表出があると推測される。

## 【活動目的】

### ・当初のねらい

A 児のことをより知りたい、客観的な実態把握がしたい、という思いのもと表出の見逃しを防ぎ、同じ場面を他者と共有できるようにビデオで記録をして観察を行おうと考えた。児童の表出の意図について客観的に考察するために、複数の教師で同じビデオを観察して各教師の評価を比較し、評価が一致した点を児童の表出の意図として捉えようと考えた。

当初のねらいに沿って記録をとり、複数教師の評価を表にまとめて評価が一致した点を明らかにしたものを8月に行われた魔法のプロジェクトのオンライン進捗報告会で報告した。その際、評価が一致した点を A 児の表出の意図としようとした点について指摘を受けた。評価が一致した点はあくまでも教師の主観が一致したということであり、必ずしも A 児の意図とは限らないということを確認し、取り組みについて再検討した。

～ねらいの変更～

取り組みの目的を「児童の反応を記録したビデオを使用し、児童の実態把握に対する教師の考察について根拠を明らかにして他の教師や保護者に伝えられると示すことで、児童の実態把握に ICT を使用するメリットを明らかにする。」に変更した。児童の表出の意図については、あくまでも教師の主観であることを明らかにした取り組みとした。

### ・実施期間

2022年5月9日から2023年1月11日まで

### ・実施者

講武 俊希

### ・実施者と対象児の関係

担任と児童

## 【活動内容と対象児の変化】

### ・対象児の事前の状況

身体に触られる遊びや、高い音の楽器、人の話し声を聴くのが好き。また、指を動かして物に触る姿も評価されている。

### ・活動の具体的内容

注意を向けている刺激を限定するために、記録をとるときにはできるだけ刺激の少ない部屋で活動した。「ABA デザイン」(黙ってみるコミュニケーション,武長龍樹、巖淵守、中邑賢龍編著,atacLab,2016,16 頁)で刺激の提示を設定し、ベースラインとなる事前事後の介入前後の様子との比較を記録するようにした。

### 活動場面

(1) 声への反応「名前呼び、あいさつ」

(2) 好きな活動は何か「ベルの音、腕をバタバタと上下に動かす、手遊びやふれあい歌遊び」

(3) 一人で手を動かして楽器を鳴らす様子を観察「腕を吊ってツリーチャイム」

(4) 利き手はどちらか「両手を同時に握る」

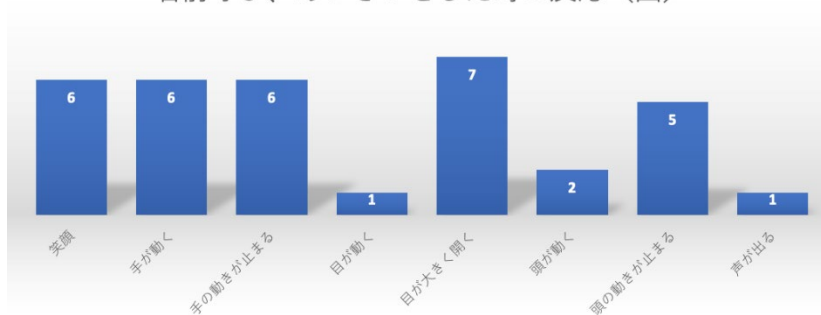
学年会を2回行い、進捗報告と意見収集を行った。

ビデオを目視で確認する方法を基本としたが、場面によってはアプリ「iOAK」を使い、動きの量を可視化して比較した。

### ・対象児の事後の変化

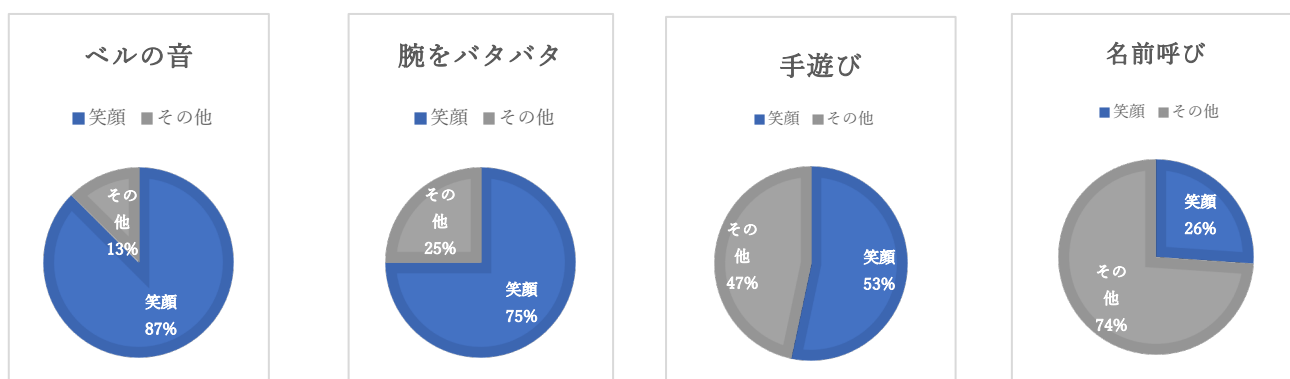
(1) 声に対する反応については、23 回記録をとって、21 回に反応が見られた。目視による確認では、声をかけた瞬間に目が開いたり、笑顔になったり、名前を呼んだ後に手が動いたりする姿が見られた。iOAK で記録すると、教師が近づいたときに頭や手の動きが止まり、声を掛けたときにも動きが止まっている様子が見られた。(記録は、エビデンス①活動の記録)

名前呼び、あいさつをした時の反応 (回)



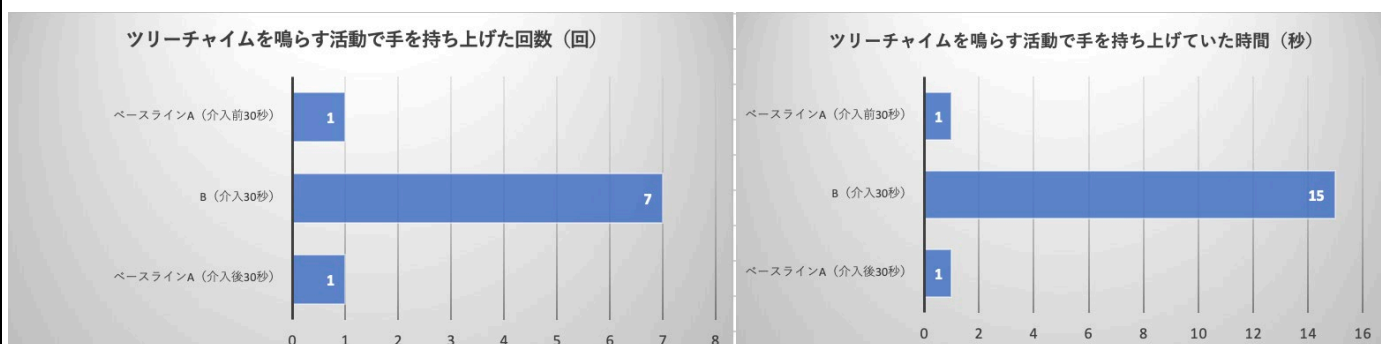
考察→声に対して、高い確率で何らかの反応が見られており、A 児は声に対しての定位反応が安定して見られることが考えられる。表情(笑顔)、手の動き、目の開き、頭の動きに変化が見られることが同じくらいの割合であり、毎回全身を見て反応を確かめる必要がある。また、教員が近づいた時や声を掛けた瞬間に動きが止まることがあり、動きが減っている時は表出が無い状態ではなく何かの注意を向けている時とも考えられる。

(2) 好きな活動については、ベルの音(8回中7回)、手を繋いで腕をバタバタと上下に動かす(4回中3回)、手遊び(15回中8回)、名前呼びやあいさつ(23回中6回)で笑顔が見られた。



考察→母数が違うものの、確率としてはベルの音や腕をバタバタと動かす時に笑顔が出ることが多かった。好きな活動と考えている。また、ベルの音は普段の生活よりもこの環境設定の方が笑顔が出やすいと考えており、静かな環境を作り、聞こえてくる音に集中しやすくした上で音を聞くことが笑顔の表出につながりやすいと感じている。

(3) 何も触っていない時でも手指が動いていることの多い A 児の腕を吊ってツリーチャイムを鳴らす活動を行った。ベースライン(A) 前後30秒では、指は動いているもののほとんどの時間手が床に接地しており、手を持ち上げたのは1回1秒程ずつだったのに対し、介入場面(B) 30秒で7回手を持ち上げてツリーチャイムを鳴らし、手を持ち上げていた総時間数は約15秒だった。学年会の際に、複数の職員で動画を確認し、介入場面(B)で手を持ち上げてツリーチャイムを鳴らしている回数と時間が増えていることを複数人で確認した。事前のベースライン(A)と、提示場面(B)では頭が右を向いて動きが少なかったが、事後のベースライン(A)では、頭を左右に動かす姿が見られた。



考察→ツリーチャイムがある時だけ明らかに自分で手を持ち上げて楽器を鳴らしているので、不随意に手が動いているのではなく、随意的に手を動かしていると考えた。因果関係を理解し、手を動かして音を鳴らすという活動ができているようにも思えた。

(4) 利き手はどちらかについては、両手を同時に握り続けて先に引き込む手を記録したところ、先に右手に力が入り、引き込む動きが2度確認された。

考察→意識して力がまず入るのは右手だと考えた。

## 【報告者の気づきとエビデンス】

### ～活動から～

今まで、呼びかけてから何か応答があることを期待して待っていた。しかし、呼びかけている時や呼びかける前に近づいた時から A 児は教師に気づいており、集中して意識を向けてくれていたと感じた。そのため動きが増えることだけではなく、減っている様子にも注目していきたいと思った。笑顔の出やすい活動については、授業の中で積極的に取り入れることで A 児の生活が満たされたものになると思うため続けていきたいと思った。手を使った活動で随意的に動かせる姿が確認できたため、これからもさまざまな物を触って操作する経験を積んでほしいと考えている。肘の支持をすれば、ある程度自分で手を持ち上げ、指を動かして触れるということを活かした教材が提示できると良い。また、基本的には右手を使う方が力を発揮しやすいと考えた。

### ～実態把握について～

言葉によるコミュニケーションが難しい児童とかかわるときに、事実かまたは教師の主観かの整理ができていなかったことに気づいた。A 児の本当の気持ちを聞くことはまだ困難なため、主観が重要なことには変わりはないが、事実を基に主観をもって A 児とかかわったり、保護者や他の教員に自分の考えを伝えたりしていきたい。

### ～実態把握に ICT を使用するメリットについて～

記録する場面によって効果的な分析方法がある。A 児が床や車椅子に座って音を聞く場面では動きが限定されるため、iOAK を使うとわかりやすく結果が出るため役立った。抱っこしていたり、物を動かしたりする場面では、動きのノイズが多いため iOAK は不向きで、ビデオを目視で確認して回数や時間を記録して分析した。根拠となる記録があると A 児のもっている力に対してより自信をもって説明ができた。また、報告者自身が観察していた瞬間には気づけなかった A 児の姿をビデオの中で確認できたことにより、A 児の持っていた力に感動したことがあった。学年会で経過を報告する際、iOAK を使ったことや、ABA デザインで撮った動画を見せてから考察を伝えたことで、「わかりやすい」「A 児本当にすごい」「ビデオがあると後から何度でも見ることができ、その時に気づけなかった反応に気づくことができている」といった意見が出た。ビデオは繰り返し見られることや場面の共有が容易であることがメリットであり、ABA デザインで撮ることで比較もしやすくなる。iOAK は、動きの量を可視化するため時間経過による動きの量について比較したい時には結果が見やすく、ビデオを目視するだけでは気づけなかった変化に気づくことができる点もメリットだと感じた。



使用したアプリ「iOAK」

iPad のカメラを使用する。動きのあった箇所につけられることで、動きを可視化できる。

(使用した画像は、エビデンス④)

・エビデンス(具体的数値など)

①活動の記録

名前呼び、あいさつ (抱っこ)									
+は動きが増えた、-は動きが減ったことを意味します。									
日付	笑顔	手の動き	目の動き	目の開き	頭の動き	声	コンディショ	時間帯	その他
5月9日		+						午前	
5月30日		+	+					午後	
6月2日		-		+			眠そう	朝	
6月7日	+			+			眠そう	午後	
6月8日	+						少しゼコゼコ	午後	
6月14日		-		+			眠そう	午後	
11月21日				+	-		眠そう	午前	
名前呼び、あいさつ (バギー) iOAK使用									
日付	笑顔	手の動き	目の動き	目の開き	頭の動き	声	コンディショ	時間帯	その他
6月2日					+			朝	
9月7日		-			-			朝	
9月12日				+				朝	
10月31日		-			-			朝	動画が短く、判断が難しい
11月2日	+							朝	
11月9日		+			-		眠そう	朝	
12月2日						+		朝	
12月12日							眠そう	午後	一瞬動きが止まったように見えるが、判断が難しい
1月11日					-			午後	
名前呼び、あいさつ (座位保持いす) iOAK使用									
日付	笑顔	手の動き	目の動き	目の開き	頭の動き	声	コンディショ	時間帯	その他
10月5日	+			+	+		寝ていた	午後	
12月12日		-		+				午後	
名前呼び、あいさつ (床) iOAK使用									
日付	笑顔	手の動き	目の動き	目の開き	頭の動き	声	コンディショ	時間帯	その他
10月4日	+						眠そう	午後	
10月5日	+							午後	
10月13日							眠そう	午後	変化なし
11月21日		+						朝	
12月19日	+	+						朝	
ベル (抱っこ)									
日付	笑顔	手の動き	目の動き	目の開き	頭の動き	声	コンディショ	時間帯	その他
5月30日	+							午後	
6月2日		+					眠そう	午後	鳴らした後に力が入る
6月7日	+							午後	
6月8日	+							午後	
6月14日	+						眠そう	午後	
ベル (バギー)									
日付	笑顔	手の動き	目の動き	目の開き	頭の動き	声	コンディショ	時間帯	その他
12月12日	+						眠そう	午後	微笑む
1月11日	+							午後	
ベル (座位保持椅子)									
日付	笑顔	手の動き	目の動き	目の開き	頭の動き	声	コンディショ	時間帯	その他
12月12日	+						眠そう	午後	微笑む
手バタバタ (バギー)									
日付	笑顔	手の動き	目の動き	目の開き	頭の動き	声	コンディショ	時間帯	その他
9月12日					-			朝	
9月14日	+						眠そう	朝	
11月9日	+							朝	
手バタバタ (座位保持いす)									
日付	笑顔	手の動き	目の動き	目の開き	頭の動き	声	コンディショ	時間帯	その他
10月5日	+						眠そう	午後	

手遊び (抱っこ)									
日付	笑顔	手の動き	目の動き	目の開き	頭の動き	声	コンディショ	時間帯	その他
5月30日	+	+						午後	#ちくわ
6月2日		+					眠そう	朝	#ちくわ
6月7日		+		+			眠そう	午後	#ちくわ
6月8日	+	+		+			眠そう	午後	#ちくわ
6月14日		+		+			眠そう	午後	#ちくわ
手遊び (バギー)									
日付	笑顔	手の動き	目の動き	目の開き	頭の動き	声	コンディショ	時間帯	その他
9月7日	+			+	-			朝	#一本橋 1回目後に笑う
9月12日				+	-			朝	#一本橋
11月2日	+				-			朝	#とんとんひげじいさん
1月11日	+				-			午後	#こちょこちょ
手遊び (座位保持いす)									
日付	笑顔	手の動き	目の動き	目の開き	頭の動き	声	コンディショ	時間帯	その他
10月5日	+	+						午後	#一本橋
手遊び (床)									
日付	笑顔	手の動き	目の動き	目の開き	頭の動き	声	コンディショ	時間帯	その他
10月4日	+	+			+		寝起き	午後	#せんたくき
10月5日							眠そう	午後	#せんたくき 動かない
10月13日		+					眠そう	午後	#せんたくき 手を噛む
11月21日		+					眠そう	朝	#せんたくき
12月19日	+				-			午後	#こちょこちょ
近づいた時の反応 (バギー) iOAK使用									
日付	笑顔	手の動き	目の動き	目の開き	頭の動き	声	コンディショ	時間帯	その他
9月7日		-			-			朝	足音あり
9月12日					-			朝	近づいて声をかけるまでの時間が短い
12月2日								朝	足を動かす
12月12日							眠そう	午後	変化なし、元から動きが少ない
1月11日					-			午後	
近づいた時の反応 (座位保持いす) iOAK使用									
日付	笑顔	手の動き	目の動き	目の開き	頭の動き	声	コンディショ	時間帯	その他
10月5日				+			寝ていた	午後	近づいたら目を開けた
近づいた時の反応 (床) iOAK使用									
日付	笑顔	手の動き	目の動き	目の開き	頭の動き	声	コンディショ	時間帯	その他
10月4日				+			眠そう	午後	
10月5日		-			-			午後	わずかに減っている
10月13日				+			眠そう	午後	
11月21日		+			-	+	眠そう	午前	
12月19日					-			朝	

②ベルの音を聞いて笑顔になる様子 (6月7日)



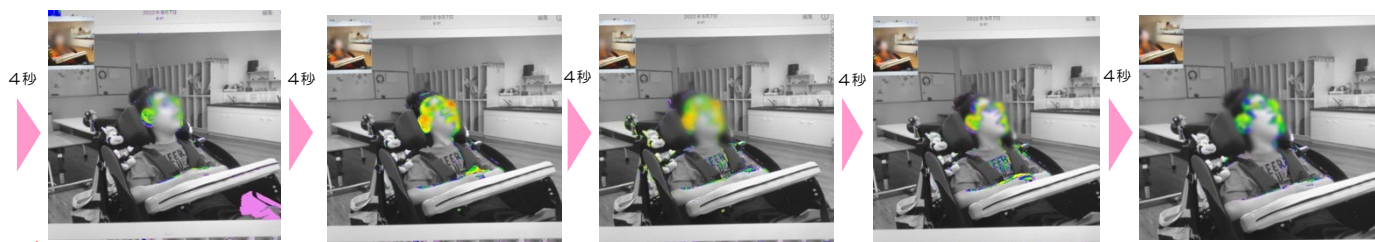
③両手を同時に掴むと、右手を先に引き込む様子 (1月11日)



④あいさつをする前からの様子を iOAK で記録(9月7日)

A 介入前

↓ 4秒毎にシャッターを切った。動きのあった箇所に色が付くため、頭が動いていることがわかる。



B 介入

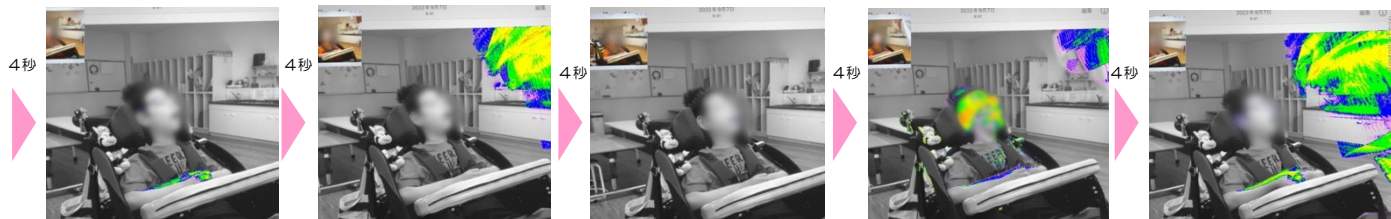
↓ 教師が近づく

↓ 声を掛ける

↓ 間

↓ 間

↓ 再び声を掛ける



足音を立てて近づくと、頭の動きが止まった。声を掛けてからもしばらく動きが止まっており、再び動き始めてからもう一度声を掛けると、また頭の動きが止まった。

⑤腕を吊ってツリーチャイムを鳴らす様子(12月12日)

↓ A 介入前(ツリーチャイム無し) 5秒毎の冒頭3枚 手は机に接地していることが多い。



↓ B 介入(ツリーチャイムを置く) 5秒毎の冒頭3枚 手を持ち上げ、音を鳴らす姿が見られる。



↓ A 介入後(ツリーチャイム無し) 5秒毎の冒頭3枚 手は机に接地していることが多く、それまで右を向いていた頭が左に向く。



～外部専門家の意見～

外部専門家の理学療法士にツリーチャイムを手で鳴らす動画を見てもらった。A児が随意的に手を動かしていることが無理なく説明できる十分な映像が撮れていると評価をもらった。また、ツリーチャイムを右手で鳴らすときに左手の動きもかなり増えていることについて質問したところ、両手の動きが連合反応や共同運動による動きではないため、右手を動かしたときに左手にも力が入ってしまうような類のもので、A児が随意的に手を動かしていると考えてよいと助言を得た。

・その他のエピソード

～報告書作成後、A児の母親から～

これまで、A児に近づいていくときに気づいているのだろうという感覚ではあったが、確証が持てていなかった。今回の取り組みで、気づいているということが明らかになり嬉しかった。